

農林水産省 食料産業局長賞

協同組合 産直センターひがしやま季節館(岩手県一関市(いちのせきし)) ～直売所を核に災害時の食材供給と地産地消の基地となる～

組織概要

○代表者 理事長 前田 眞
○構成員 生産者152名

○所在地 岩手県一関市東山町
○活動開始年 平成6年



受賞のポイント

- 直売を行うために立ち上げた直売所組合が核となり、直売所での地場農産物や農産加工品の販売、学校給食への食材供給、インショップや宅配での販売のほか、農産物加工品の製造販売、食堂での食事の提供など、**多角的な取組を実施してきたことで、組合員が増加し、生産体制が強化**されることにより、地域農業の振興につながっている。
- 伝統食の加工や新たな加工品開発に取り組み**、地場農産物の高付加価値化に取り組んでいる。
- 会員のほ場の土壌分析や加工施設等から出た残さいの堆肥化などを通じ、**環境に配慮した農業生産**を組織ぐるみで推進している。

取組内容

■取組みの経緯・成長の契機

- ・平成5年の未曾有の冷害の際、地域内に農産物がなくなってしまったことを契機に、「旬の新鮮な地場農産物を地域の消費者に届けたい」との思いで、平成6年6月に農協青年部の有志(会員45名)が住宅団地入口のプレハブ小屋で直売活動を開始。平成8年4月に「産直センターひがしやま生産組合」(平成11年5月に法人化)を発足し、直売所「季節館」を開設。
- ・中山間地で1戸当たりの農地所有が少ない中、農家の所得を向上させるため、学校給食センターへの食材の供給やインショップによる販売を開始するとともに、加工品を製造する「あじやら味善加工所」、食事を提供する食堂を設置し、活動を拡大。

■取組みの特徴・活動の強み

- ・直売所での販売のほかに、**学校給食センター、インショップ、宅配等での提供による販売先の拡大や加工食品の製造販売を行う**など、多角的な取組を実施してきたことで、組合員が152人に増加し、生産体制と組織体制の強化が図られ、過去5年の販売額は1億円超で推移している。
- ・**あんこ餅、漬物等の伝統郷土食や地場農産物を活用した加工品を製造販売**することで、地場産物の生産拡大につながっている。また、生産者・加工業者・流通販売者による地域特産品創造プロジェクトで、1次加工品を製造し、自らそれを使用した新たな商品を開発販売するほか、地域の菓子店でも商品化されるなど、地域と一体となった取組を行っている。
- ・地域の各種イベントで餅食などの作り方や試食を行い、消費者との交流や郷土の伝統食の啓発を実施。
- ・直売所独自で会員のほ場の土壌分析を行い、健康な土づくりの徹底を図るほか、有機栽培研修会の開催、加工施設等から出た残さいの堆肥化を行い、資源循環・環境保全に努めている。

■地域への貢献・波及効果

- ・平成24年に一関市と「**災害時における応急食糧等の確保に関する協定**」を締結し、**地域の食材供給拠点施設**として、多角的な取組の実施と伝統食を基本とした新たな加工品の開発販売を通じて、地域農業の振興、地域の活性化に貢献している。